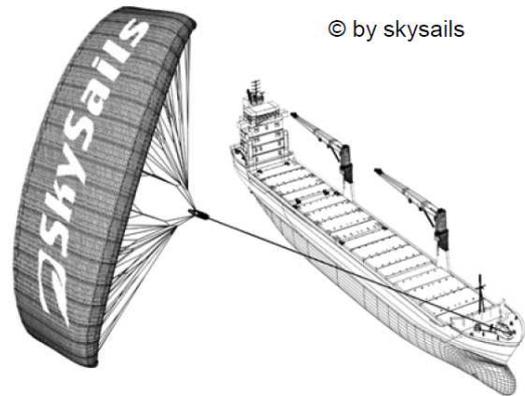


数学的リテラシー問題例(PISA2012調査問題)

帆船

世界の貿易の 95 パーセントは海上輸送によるものです。輸送にはタンカーや貨物船、コンテナ船、約 50,000 隻が使用されていて、そのほとんどがディーゼル燃料を使っています。

現在、船舶用の風力補助装置の開発が進められています。これは、船に帆のような帆をつけて、風の力を借りてディーゼル燃料の消費量を削減し、環境に配慮しようというものです。



帆船に関する問1 【難易度】512点(習熟度レベル3)

帆のような帆を使うメリットは、帆を高さ 150m まで上げられる点です。その高さであれば、風速が船のデッキ上と比べて約 25%速くなります。

船のデッキ上で測定した風速が 24 km/h の時、帆のような帆に吹き込む風の速さはおよそどのくらいになりますか。

- A 6 km/h
- B 18 km/h
- C 25 km/h
- D 30 km/h
- E 49 km/h

与えられた現実世界の、科学的な状況の中で、数学的なプロセスを適用し割合を計算することが求められている。

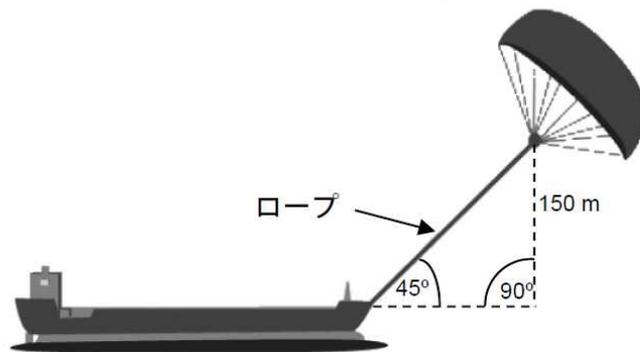
(正答) D

(正答率) 日本:57% OECD平均:60%

帆船に関する問2 【難易度】535点(習熟度レベル3)

右の図に示すように、角度が 45° 、高さが 150 m の状態で船を引っ張るには、帆のような帆のロープの長さをどのくらいにすればよいですか。

- A 173 m
- B 212 m
- C 285 m
- D 300 m



注：図は正確な縮尺ではありません。

© by skysails

与えられた科学的な状況の中で、現実的な図形に対し三平方の定理を適用し、長さを求める問。
※なお、三平方の定理をはじめ、いくつかの公式は、問題冊子の表紙裏に公式一覧としてあらかじめ記載されている。

(正答) B (正答率) 日本:53% OECD平均:50%

数学的リテラシー問題例(PISA2012調査問題)

帆船に関する問3 【難易度】702点(習熟度レベル6)

ディーゼル燃料は 1 リットルあたり 0.42 ゼットという高い費用がかかるため、「ニューウェーブ号」の所有者は帆のような帆をつけることを考えています。

帆のような帆は、ディーゼル燃料の消費を全体で約 20%削減する見込みがあるとされています。

船名：「ニューウェーブ号」

種類： 貨物船

船長： 117 メートル

船幅： 18 メートル

せきさいりょう
積載量： 12,000 トン

最高速度： 19 ノット

帆のような帆を使用しない場合のディーゼル燃料の年間消費量：約 3,500,000 リットル



「ニューウェーブ号」に帆のような帆をつけるための費用は 2,500,000 ゼットです。

この帆のような帆をつけるための費用を、ディーゼル燃料の削減量で取り戻すには、およそ何年かかりますか。計算式を示して、答えを書いてください。

与えられた費用削減と燃料消費に関する実際の状況を、適切な計算式を示して解決することが求められている。

(正答例)

帆のような帆を使用しない場合のディーゼル燃料の年間消費量：約3,500,000リットルで、価格は1リットルあたり0.42ゼットなので、帆がついていない場合のディーゼル燃料の費用は1,470,000ゼットとなる。帆をつけることで20%の削減ができれば、1年あたり $1,470,000 \times 0.2 = 294,000$ ゼットの節約になる。

よって、 $2,500,000 \div 294,000 \approx 8.5$ 、つまり約8～9年後、帆をつけた費用を取り戻すことができる。

(8～9年という答えを、適切な(数学的)計算で示している。)

(正答率) 日本:19% OECD平均:15%

読解力問題例(PISA2009予備調査問題)

けちんぼうと黄金

イソップ物語

けちんぼうが持ちものをすべて売りはらって、黄金のかたまりを買いました。そして、古い壁の近くに穴をほり、その黄金を地面にうめたのです。けちんぼうは毎日、黄金を見に行きました。しょっちゅうその場所に出かけるものですから、けちんぼうのもとで働いている職人がそれに目をつけ、けちんぼうの行動を観察することにしました。職人は宝物がかくされていることをすぐに知り、地面から黄金を掘りあて、それを盗んでしまったのです。例によってその場所にやってきたけちんぼうは、穴がからっぽになっていることに気がつき、髪の毛をかきむしりながら、大きな声でなげき悲しみました。となりの家に住んでいる人が、けちんぼうのなげき悲しんでいるようすを見ていましたが、そのわけを知って、次のように言いました。「まあまあ、そんなになげき悲しみなさんな。石をもって行って、穴の中に入れて、黄金はまだそこにあると思えばよろしい。あなたにとっては、まったく同じことだろう。黄金があろうとなかろうと、どうせまったく使いやしないんだから」。

けちんぼうと黄金に関する問1

【難易度】373点(習熟度レベル1a)

下の文を読み、物語の中のできごとが起こった順に番号を記入してください。

けちんぼうが持ち物すべてを黄金のかたまりに変えることにした。

ある男がけちんぼうの黄金を盗んだ。

けちんぼうが穴を掘り、そこに宝物をかくした。

けちんぼうのとなりの家の人、黄金のかわりに石を入れておけばよいと言った。

(正答) 上から順に「1」「3」「2」「4」

けちんぼうと黄金に関する問2

【難易度】310点(習熟度レベル1b)

けちんぼうは、どのようにして黄金のかたまりを手に入れたのですか。

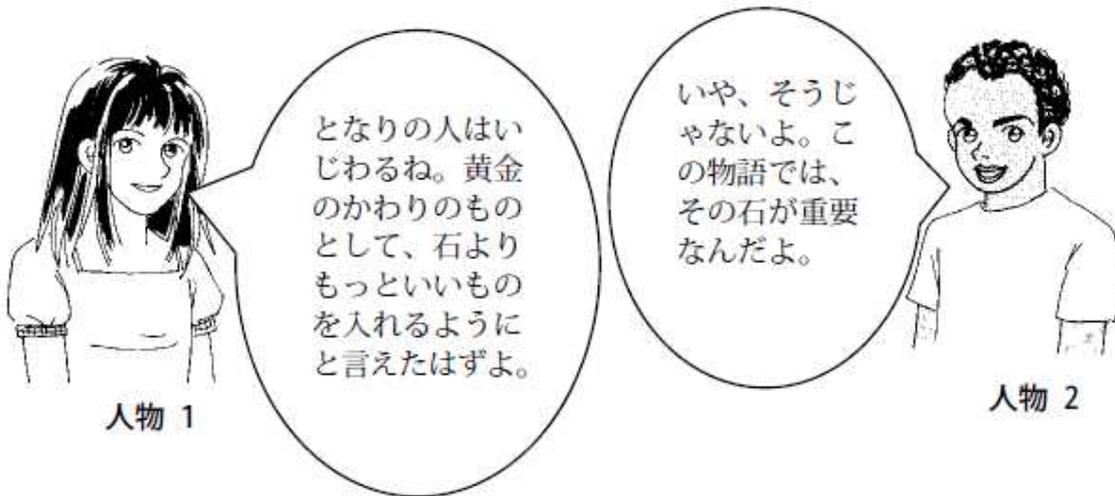
(正答例)

・持ち物すべてを売りました。(彼が持ち物をすべて売ったと述べている。言い換えてもよいし、そのまま引用してもよい。)

読解力問題例(PISA2009予備調査問題)

けちんぼうと黄金に関する問3 【難易度】548点(習熟度レベル3)

『けちんぼうと黄金』を読んだ二人の人物が、次のような会話をしています。



人物2がこのような意見を言うとき、どんな理由をあげたらよいと思いますか。

(正答例)

- ・物語の核心は、それを無価値なものと置き換えられなければならないことです。
- ・この物語では、石であることが重要です。なぜなら、黄金から喜びを得るのも、石をうめるのも同じようなものだというのが、物語の核心だからです。
- ・石よりもましなものに置き換えたら、話がまとはずれになります。なぜなら、埋めるものは本当に無意味なものでなければならないからです。

(物語の伝えようとしていることが、黄金を無意味なもの、あるいは無価値なものと置き換えることに依存していることを判別している。)

けちんぼうと黄金に関する問4

この物語が伝えようとしていることは主に何ですか。

- A 盗まれる可能性のある富をたくわえるな
- B 他人を信用するのはまちがいである
- C 持っているものを使わないのは、持っていないのと同じことだ
- D 変えられないことを、なげいてはいけない

(正答) C

科学リテラシー問題例(PISA2000年及び2006年調査問題)

温室効果

次の課題文を読んで、以下の間に答えてください。

温室効果 - 事実かフィクションか

生物は、生きるためにエネルギーを必要としている。地球上で生命を維持するためのエネルギーは、太陽から得ている。太陽が宇宙空間にエネルギーを放射するのは、太陽が非常に高温だからである。このエネルギーのごく一部が地球に達している。

空気のない世界では温度変化が大きい、地球の大気は地表をおおう防護カバーの働きをして、こうした温度変化を防いでいる。

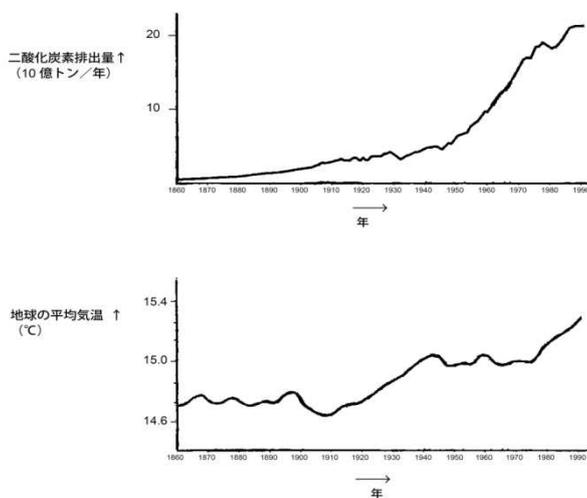
太陽から地球へくる放射エネルギーのほとんどが地球の大気を通過する。地球はこのエネルギーの一部を吸収し、一部を地表から放射している。この放射エネルギーの一部は大気に吸収される。

その結果、地上の平均気温は、大気がない場合より高くなる。地球の大気は温室と同じ効果がある。「温室効果」というのはそのためである。

温室効果は20世紀を通じていっそう強まったと言われている。

地球の平均気温は確かに上昇している。新聞や雑誌には、二酸化炭素排出量の増加が20世紀における温暖化の主因であるとする記事がよく載っている。

太郎さんが、地球の平均気温と二酸化炭素排出量との間にどのような関係があるのか興味をもち、図書館で次のような二つのグラフを見つけました。



太郎さんは、この二つのグラフから、地球の平均気温が上昇したのは二酸化炭素排出量が増加したためであるという結論を出しました。

温室効果に関する問1【難易度】529点(習熟度レベル3)

太郎さんの結論は、グラフのどのようなことを根拠にしていますか。

地球の平均気温と二酸化炭素排出量との間にどのような関係があるのかについて結論を出した根拠を、論述できるかを問うもの

(正答例)

- ・排出量が増えるにつれ、気温が上昇している。(全体として、平均気温が上昇していることと、二酸化炭素の排出量も増加していることの両方を述べている。)
- ・CO₂の排出量と、地球の平均気温との関係は直接に比例している。(気温と二酸化炭素排出量との間の正の相関を述べている。)

(正答率) 日本:69% OECD平均:54%

科学リテラシー問題例(PISA2012調査問題)

温室効果に関する問2【難易度】「完全正答」659点(習熟度レベル5)／「部分正答」568点(習熟度レベル4)

花子さんという別の生徒は、太郎さんの結論に反対しています。花さんは、二つのグラフを比べて、グラフの一部に太郎さんの結論に反する部分があると言っています。

グラフの中で太郎さんの結論に反する部分を一つ示し、それについて説明してください。

結論に反論するために、結論を支持する証拠とならないグラフの特徴を指摘することができるかどうかを問うもの

(完全正答例)

- ・(およそ)1900～1910年には、CO₂は増加しているが気温は低下している。(グラフの特定の部分で両者が同時に増えたり同時に減ったりしていないことを指摘し、それに対応する説明をしている。)

(部分正答例)

- ・1930～1933年(言及している時期は正しいが、説明を行っていない。)
- ・1980年に排出量は減少したが温度はまだ上昇していた。(基準を満たす説明がなされているが、特定年度(期間ではない)のみに言及している。)
- ・1950～1960年に、気温は下がったが二酸化炭素排出量は増加した。(グラフの中の、太郎さんの結論に反する部分に言及しているが、その時期が誤っている。)
- ・気温が上がっても排出量は下がっている箇所がある。(二つの曲線の相違を述べているが、時期を特定していない。)
- ・1910年頃、気温が下がり、それがしばらくの間続いた。(片方のグラフについて、不規則性を指摘している。)
- ・1940年代には、気温は非常に高かったが二酸化炭素は非常に少なかった。(二つの曲線の相違を述べているが、時期を特定していない。)

(正答率) 日本:54% OECD平均:35%

温室効果に関する問3 【難易度】709点(習熟度レベル6)

太郎さんは、地球の平均気温が上昇したのは二酸化炭素排出量が増加したためであるという結論を主張しています。しかし花さんは、太郎さんの言うような結論を出すのはまだ早すぎると考えています。花さんは、「この結論を受け入れる前に、温室効果に影響を及ぼす可能性のある他の要因が一定であることを確かめなければならない」と言っています。

花さんが言おうとした要因を一つあげてください。

温室効果に影響を及ぼす可能性のある二酸化炭素以外の要因について問うもの

(正答例)

- ・太陽の熱と、おそらく地球の位置の変化(太陽から来るエネルギーないし放射熱のことを述べて、一つの要因としている。)
- ・空気中の水蒸気(天然の成分または汚染物質が存在する可能性について述べて、一つの要因としている。)

(正答率) 日本:18% OECD平均:19%

ジュニアマイスター顕彰制度について①

＜主催＞全国工業高等学校長協会

＜目的＞資格の取得や競技会等での成果を表彰することにより、生徒の意欲と技術・技能の向上を目的とする。

＜顕彰の方法＞主に工業教育に関わる資格、競技会、コンクール等200項目程度を選定し、その難易度や重要度を点数化し、表(区分表)を作成。

30点以上にはジュニアマイスターシルバー

45点以上にはジュニアマイスターゴールド

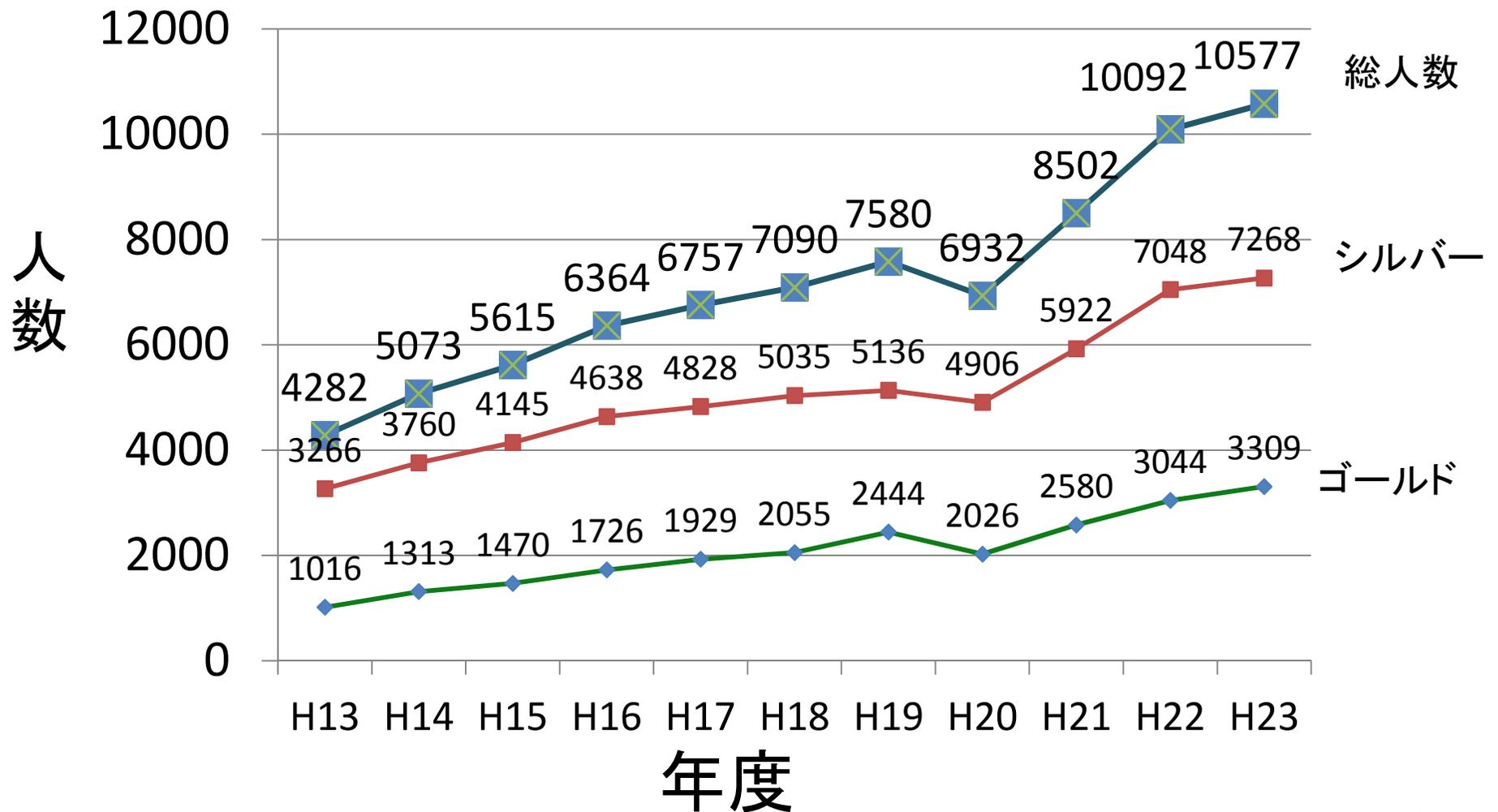
の称号を外部委員からなる認定委員会が学校長から申請のあった生徒に対し付与する。

＜主な資格や競技会＞

ランク	ポイント	主な資格や競技会	
S	30	電気主任技術者3種	高校生ものづくりコンテスト全国大会1位
A	20	各職種技能士2級	若年者ものづくり競技大会1位
B	12	品質管理検定2級	
C	7	電気工事士2種	高校生ものづくり県大会優勝
D	4	危険物取扱者乙種4類	高校生ものづくり大会県大会入賞
E	2	アマチュア無線技士3級	各種技能系競技会県大会入賞
F	1	ガス溶接等技能講習	

ジュニアマイスター顕彰制度について②

ジュニアマイスター認定者の推移



ジュニアマイスター顕彰制度が 大学入試等で活用されている例(1)

(HPから抜粋)

- A大学：ジュニアマイスターAO入試
ロボットコンテストやソーラーカーレースなどの大会で活躍できる人材を募集。
ジュニアマイスターゴールドで特に優秀な者は学費半額
- B大学：資格推薦入学
各学科の指定する資格・コンテストを一つ以上取得すれば受験可能。
ジュニアマイスターゴールド特待生
ジュニアマイスター特待生は年間授業料1/2相当額
4年間免除。

ジュニアマイスター顕彰制度が 大学入試等で活用されている例(2)

(HPから抜粋)

- C大学：特別奨学生入試
学業成績が優良で、秀でた特徴(*)を有し…
* 秀でた特徴とは、ジュニアマイスター顕彰に関わる
資格・検定のBランク以上の取得者。
- D大学：推薦入試
ジュニアマイスターゴールドに認定されている者
また、それに相当する資格を有する者が対象。
- E大学：入学生対象
ジュニアマイスターの顕彰制度に基づく称号を有する
入学生に対し、奨学金を給付。

専門高校で取り組む主な資格等

学 科	本 科	専攻科
農業に関する学科	毒物劇物取扱責任者、危険物取扱者（乙・丙種）、ボイラー技士（二級）、大型特殊運転免許、家畜人工授精師、測量士、測量士補、土木施工管理技士（2級）、クレーン運転士、造園技能士、造園施工管理技士（2級）、園芸装飾技能士、車両系建設機械運転技能者、公害防止管理者、土木施工技術者、初級園芸福祉士、実験動物二級技術者、家庭動物販売士（三級）、初級バイオ技術者認定試験	/
工業に関する学科	技能士（三級）、電気工事士（第一・二種）、電気主任技術者（第三種）、自動車整備士（三級）、ボイラー技士（二級）、土木施工管理技士（2級）、建築施工管理技士、管工事施工管理技士、陸上・海上特殊無線技士（第一・二・三級）、測量士、測量士補、ITパスポート試験、基本情報技術者、危険物取扱者（乙・丙種）、消防設備士（甲・乙種）、公害防止管理者（水質・大気）、火薬類取扱保安責任者（甲・乙種）、車両系建設機械運転技能者、クレーン等運転士、毒物劇物取扱責任者、工事担任者（アナログ第一・二・三種、デジタル第一・二・三種、アナログ・デジタル総合種）、トレース技能検定	自動車整備士（二級） 建築士（二級） 技能士（二級）
商業に関する学科	税理士試験（簿記論、財務諸表論）、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、FP（ファイナンシャル・プランナー）、旅行業務取扱責任者、簿記検定、小売商（販売士）検定、秘書技能検定、実用英語技能検定	/
水産に関する学科	海技士（四・五級）、小型船舶操縦士（一・二級）、第三級総合無線通信士、陸上・海上特殊無線技士、工事担任者、冷凍機械責任者（三種）、ボイラー技士（二級）、危険物取扱者（乙・丙種）、潜水土、ガス溶接技能者、玉掛け技能者、潜水技術検定、栽培漁業技術検定、情報通信技術検定、食品技能検定、HACCP基本技能検定、漁業技能検定、エンジン技術検定	海技士（三級）、船舶衛生管理者、総合無線通信士（第一・二級）
家庭に関する学科	調理師、製菓衛生師、介護職員初任者研修、被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定、色彩能力検定、カラーコーディネーター検定、秘書技能検定、サービス接客検定	保育士
看護に関する学科	准看護師	看護師
情報に関する学科	基本情報技術者試験、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、CGエンジニア検定情報検定（J検）、デジタルコンテンツクリエイター認定試験、デジタル技術検定	/
福祉に関する学科	介護福祉士、介護福祉士実務者研修、介護職員初任者研修	/

主な英語の外部試験

試験名	実施主体	主な目的	主な受験者層	受験人数	実施回数	成績の表示方法	出題形式	受験料
実用英語技能検定	公益財団法人 日本英語検定協会	日常生活から広く社会生活で必要とされている英語力を7段階のレベル(級)に分けて評価。 ・350以上の海外大学において入学資格として認定。	・小学生 ・中学生 ・高校生 ・大学生 ・社会人	約230万人(H23実績)	3回/年	・1級から5級(7つの級)で可否による成績表示。	◆一次試験 ・リーディング/リスニング/ライティング ※2級～5級は全てマークシート形式 ※1級・準1級はライティングが追加され記述形式 ◆二次試験 ・スピーキング ※3級以上面接方式	・1級:7,500円 ・準1級:6,000円 ・2級:4,100円(3,900円) ・準2級:3,600円(3,400円) ・3級:2,500円(2,300円) ・4級:1,500円(1,300円) ・5級:1,400円(1,200円) ※括弧内は、準会場受験の場合
TOEFL® テスト (TOEFL iBT®)	テスト制作は、米国のEducational Testing Service(ETS) (日本では国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部がTOEFLテスト事務局として広報・周知活動を実施。)	英語を母国語としない人の英語能力を測定 ・留学 ・英国、オーストラリアビザ申請条件	・高校生 ・大学生 ・社会人	非公表 (全世界統一)	30-40回/年	・0-120点(4技能を各0-30点で評価) ・合否判定無 ・受け入れ機関(TOEFLテストスコア利用団体)がスコアを設定	インターネット形式 ・リーディング/リスニング/スピーキング(マイク利用)/ライティング(タイピング) (スピーキング、ライティングには、読んで聞いて話すもしくは読んで聞いて書く、の複合技能測定問題が含まれる。)	通常申込 US\$225 ^{ドル} (毎年7月に改定可能性有) (国により受験料は異なるが、金額はドル表示であるが、支払時に日本円表記のオプションあり)
TOEIC®テスト (リスニングテスト/ リーディングテスト)	テスト制作は、米国のEducational Testing Service(ETS) (日本では一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会が実施)	・一般からビジネスまで幅広い英語によるコミュニケーション能力(「聞く、読む」能力)を測定する。 ・全国405校(大学・短大・高专)で入学試験に活用。	・高校生 ・大学生 ・社会人	高校・大学・団体・企業 3200団体で約230万4千人(H24実績) ※全世界では150カ国、約700万人	【公開テスト】 10回/年 【団体特別受験制度】 団体内で任意の日程で実施。	・リスニングスコア5～495点 ・リーディングスコア5～495点 ・トータルスコア10～990点	・リスニング/リーディング (マークシート方式)	5,565円(4,040円) ※括弧内は、団体特別受験制度を利用した場合
TOEIC® スピーキングテスト/ ライティングテスト	テスト制作は、米国のEducational Testing Service(ETS) (日本では一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会が実施)	国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションするために必要な「話す、書く」能力を測定する。	・高校生 ・大学生 ・社会人	企業・団体・学校140団体 で約1万1千人(H24実績) ※全世界では25カ国	【公開テスト】 24回/年 土曜または日曜の午前・午後 に1回ずつ 【団体特別受験制度】 団体内で任意の日程で実施。	・スピーキングスコア 0～200点 ・ライティングスコア 0～200点	・スピーキング パソコン上で音声吹き込み ・ライティング パソコン上で文章を入力	9,975円(8,800円) ※括弧内は、団体特別受験制度を利用した場合 ※スピーキング/ライティングいずれか受験(各 6,000円)
IELTS	ブリティッシュ・カウンシル、 IDP(IELTS オーストラリア)、ケンブリッジ大学 ESOL 共同運営 (日本では公益財団法人日本英語検定協会)	・留学、海外移住など	・大学生 ・社会人	約1万5千人(H23実績) ※全世界では120カ国、約170万人	公開試験:最大で28回/年 (開催時期と回数は都市により異なる)	・1.0から9.0までの0.5刻みで成績表示(1.0 = Non-user～9.0 = Expert user)	・リーディング&リスニング (解答用紙への記述) ・スピーキング (1対1の面接方式) ・ライティング (解答用紙への記述)	24,675円
GTEC for STUDENTS	株式会社ベネッセコーポレーション Berlitz Corporation ELS Educational Services, Inc.	・大学での入学資格認定 ・英語運用力の測定 ・学校における技能別指導検証	・中学生 ・高校生	約62万人/約1,200校 (H24実績) ※日本の高校生が最も多く受験するスコア型検定	統一検定日は7月・12月 実施は通年で可能。	・グレード1～7 ・スコア0～810 グレード1(～299)=挨拶程度のコミュニケーションができるレベル グレード7(710～810)=大学での専門教育を英語で学べるレベル	・リーディング(多肢選択) ・リスニング(多肢選択) ・ライティング(自由記述) ・スピーキング(発話)※オプション	3,000円 ※学校申込
GTEC	株式会社ベネッセコーポレーション	・英語による総合的なコミュニケーション能力を測定	・大学生 ・社会人	約2万人(H24実績)	通年	・スコア0～1000	・リーディング(多肢選択) ・リスニング(多肢選択) ・ライティング(記述) ・スピーキング(発話) ※4技能ともコンピュータで実施	12,600円
TEAP	公益財団法人 日本英語検定協会 ※上智大学と共同開発	・大学教育レベルにふさわしい英語力の測定	・高校3年生以上	約300人(H23実績) (上智大学AO入試および推薦入試としての実績)	・2014年度は年間3回全国7箇所 で実施(リーディング&リスニング 7月・9月・12月)。 ※スピーキングとライティングは2014年度は一部地域で実施。2015年度より全国で実施予定。	スコアと世界的に利用されているCEFRIによる成績表示(4段階: Below A2=準2級未満、A2=準2級程度、B1=2球程度、B2=準1級程度)・スコアは各技能別に20-100。	・リーディング&リスニング (マークシート方式) ・スピーキング(1対1の面接方式) ・ライティング(解答用紙への記述)	・リーディング&リスニング 6000円(予定) *スピーキングとライティングは検討中。

校長会等が実施する検定試験

実施団体等	No.	検定名	段級位等	検定日
日本農業技術検定協会	1	日本農業技術検定	1, 2, 3級	7月, 12月
(公社)全国工業高等学校長協会	1	標準テスト	—	2月
	2	計算技術検定	1, 2, 3, 4級	6月, 11月
	3	情報技術検定	1, 2, 3級	1月, 6月
	4	基礎製図検定	—	9月
	5	パソコン利用技術検定	1, 2, 3級	7月, 12月
	6	機械製図検定	—	6月
	7	リスニング英語検定	1, 2, 3級	10月
	8	初級CAD検定	—	7月
	9	グラフィックデザイン検定	1, 2, 3級	1月
(公財)全国商業高等学校協会	1	ビジネス文書実務検定試験	1, 2, 3, 4級(速記部門について、5段～初段の段位認定あり)	6月, 11月, 2月
	2	情報処理検定試験	1, 2, 3級	1月, 9月
	3	珠算・電卓実務検定試験	1, 2, 3, 4, 5, 6級	6月, 11月
	4	簿記実務検定試験	1, 2, 3級	1月, 6月
	5	英語検定試験	1, 2, 3, 4級	9月, 12月
	6	商業経済検定試験	1, 2, 3級	2月
	7	会計実務検定	財務諸表論、財務諸表分析	10月
	8	ビジネスコミュニケーション検定試験	—	7月
全国水産高等学校長協会	1	高等学校水産海洋技術検定	—	1～2月
	2	高等学校漁業技術検定	—	7～9月, 12～2月
	3	高等学校通信技術検定	—	1月
	4	高等学校海洋情報技術検定	1, 2級	2月, 7月
	5	高等学校栽培漁業技術検定	1, 2級	6月, 12月
	6	高等学校潜水技術検定	上, 1, 2, 3級	7～8月, 11～12月
	7	高等学校食品技能検定	1, 2, 3類	1月, 7月
	8	HACCP基本技能検定	—	1月, 7月
	9	高等学校エンジン技術検定	1, 2級	7～8月, 12～2月
(公財)全国高等学校家庭科教育振興会	1	全国高等学校家庭科技術検定(被服)	1, 2, 3, 4級	6月, 11月
	2	全国高等学校家庭科技術検定(食物)	1, 2, 3, 4級	6月, 11月
	3	全国高等学校家庭科保育技術検定	1, 2, 3, 4級	6月, 10月

※看護、福祉、情報については、校長会等が実施する検定試験はないが、それぞれ関係の国家資格や国家試験等を目指している。

校長会等が実施する生徒の発表大会等

実施団体等	No.	大会等名	種類等	開催月
日本学校農業クラブ連盟	1	日本学校農業クラブ全国大会	プロジェクト発表会、意見発表会、平板測量競技会、農業鑑定競技会	10月
(公社)全国工業高等学校長協会	1	全国高等学校ロボット競技大会		11月
	2	高校生ものづくりコンテスト全国大会	旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量	11月
	3	高校生ロボット相撲全国大会		11月
	4	高校生技術・アイデアコンテスト		1月
	5	高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会		2月
	6	マイコンカーラリー		1月
	7	全国製図コンクール		12月
全国商業高等学校長協会	1	全国高等学校簿記コンクール		7月
	2	全国高等学校情報処理競技大会		7月
	3	全国高等学校珠算・電卓競技大会		8月
	4	全国高等学校ワープロ競技大会		8月
	5	全商プログラミング・コンテスト		9月
	6	全国高等学校生徒商業研究発表大会		11月
	7	全国商業高等学校英語スピーチコンテスト		1月
全国水産高等学校長協会	1	全国水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテスト		8月
	2	全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会		12月
	3	全国水産・海洋高等学校カッターレース大会		7月
	4	全国水産・海洋高等学校食品技能コンテスト全国大会		7月
	5	全国水産・海洋高等学校フィッシング技能コンテスト		7月
全国高等学校家庭クラブ連盟	1	全国高等学校家庭クラブ研究発表大会	ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動	8月

各種民間検定の概要について

検定区分	趣旨・目的	実施主体	試験結果を活用又は評価している主な団体	実施時期	実施方法	試験問題の作成・管理方法	費用負担	備考
実用英語技能検定	<p>・「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を、筆記・リスニング・スピーキングのテストで直接的に測定する検定試験を実施する。</p> <p>・年間受検者数は、約230万人。</p>	公益財団法人日本英語検定協会	<p><高校入試> ・合格判定などに活用。 (高専・高校:約1,000校)</p> <p><大学・短大入試> ・合格判定などに活用。 (大学・短大:約600校)</p> <p><高校単位認定> ・単位認定する際に活用。 (高専・高校:約1,000校)</p> <p><大学・短大単位認定> ・単位認定する際に活用。 (大学・短大:約300校)</p> <p><高等学校卒業程度認定試験> ・英語の試験科目を免除する際に活用。(英検準2級以上合格)</p> <p><海外留学時の語学力証明資格> <教員採用試験> <国家試験(通訳案内士)> ・一次合格者は筆記(一次)試験の英語科目の受験免除。</p>	・年3回実施 (6・7月、10・11月、1・2月)	<p><実施結果> ・合格判定→5～3級、準2級、2級、準1級、1級</p> <p><試験形式> ・1次:5級～1級対象、筆記試験・リスニング ・2次:3級～1級対象、面接</p> <p><実施会場> ・1次試験:公開会場(全国約230会場)、準会場 ※準会場:団体受検(学校・塾・企業等)の会場 ・2次試験:公開会場のみ</p>	<p><試験問題の作成> ・試験問題作成委員会において作成。</p> <p><試験問題の管理> ・管理に係る業務(印刷・保管等)を担う業者とは秘密保持に関する契約を締結する。</p>	<p><利用者負担> ・検定料は、受検級によって異なる。 7,500円～1,200円</p>	成績優秀者には、文部科学大臣賞等を授与。
実用数学技能検定	<p>・数学の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る検定試験を実施する。</p> <p>・年間受検者数は、約30万人。</p>	公益財団法人日本数学検定協会	<p><高専・高校・中学入試> ・合格判定などに活用。 (高専・高校・中学校:約460校)</p> <p><大学・短大入試> ・合格判定などに活用。 (大学・短大:約370校)</p> <p><大学・高専・高校での単位認定> ・単位認定する際に活用。 (大学・高専・高校:約240校)</p> <p><高等学校卒業程度認定試験> ・数学の試験科目を免除する際に活用。(数検2級以上合格)</p>	・年3回実施 (4・7・11月)	<p><実施結果> ・合格判定→12～3級、準2級、2級、準1級、1級</p> <p><試験形式> ・筆記試験のみ</p> <p><受験資格> ・特になし</p> <p><実施会場> ・全国約90会場(1～11級) (12級は自宅受検のみ。)</p>	<p><試験問題の作成> ・試験問題作成委員会において作成。</p> <p><試験問題の管理> ・管理に係る業務(印刷・保管等)を担う業者とは秘密保持に関する契約を締結する。</p>	<p><利用者負担> ・検定料は、受検級によって異なる。 5,000円～1,500円</p>	

検定区分	趣旨・目的	実施主体	試験結果を活用又は評価している主な団体	実施時期	実施方法	試験問題の作成・管理方法	費用負担	備考
<ul style="list-style-type: none"> 硬筆書写技能検定 毛筆書写技能検定 	<ul style="list-style-type: none"> 国民一般の情操を豊かにし、書写技能の水準の向上を図り、教養を高めるとともに、一般社会に役立つよう、職場・職域における事務能力を高めるため、硬筆・毛筆書写に関する知識と技能を審査する。 年間受検者数は、全体で約10万人。 	一般財団法人日本書写技能検定協会	<ul style="list-style-type: none"> <大学・短大入試> ・合格判定などに活用。(大学・短大:76校、高校:59校) <大学・短大での単位認定> ・単位認定する際に活用。(大学・短大:5校、高校:324校) 	・年3回実施(6・11・2月)	<ul style="list-style-type: none"> <実施結果> ・合否判定→5級～2級、準1級、1級 <試験形式> ・筆記試験及び実技試験 <受験資格> ・特になし <実施会場> ・全国約50会場 	<ul style="list-style-type: none"> <試験問題の作成> ・試験問題作成委員会において作成。 <試験問題の管理> ・管理に係る業務(印刷・保管等)を担う業者とは秘密保持に関する契約を締結する。 	<ul style="list-style-type: none"> <利用者負担> ・検定料は、検定種・受検級によって異なる。5,000円～1,000円 	成績優秀者には、文部科学大臣賞等を授与。
実用フランス語技能検定試験	<ul style="list-style-type: none"> フランス語・フランス文化の普及を図り、もって我が国の文化の発展に寄与することを目的に実用フランス語に関する検定試験を実施する。 年間受検者数は、約3万人。 	公益財団法人フランス語教育振興協会	<ul style="list-style-type: none"> <大学・短大入試> ・合格判定などに活用。(全体の実績は不明) <高校・専門学校での単位認定> ・単位認定する際に活用。(全体の実績は不明) 	・年2回実施(6・11月)	<ul style="list-style-type: none"> <実施結果> ・合否判定→5級～3級、準2級、2級、1級 <試験形式> ・筆記試験及び聞き取り試験 <受験資格> ・特になし <実施会場> ・全国約40会場 	<ul style="list-style-type: none"> <試験問題の作成> ・試験問題作成委員会において作成。 <試験問題の管理> ・管理に係る業務(印刷・保管等)を担う業者とは秘密保持に関する契約を締結する。 	<ul style="list-style-type: none"> <利用者負担> ・検定料は、受検級によって異なる。11,000円～3,000円 	成績優秀者には、文部科学大臣賞等を授与。
家庭料理技能検定	<ul style="list-style-type: none"> 健全な食生活を支える家庭料理に関わる技能の普及を図り、その振興を期するとともに、健康と食生活の向上、食育の推進に資することを目的として検定試験を実施する。 年間受検者数は、約3,500人。 	学校法人香川栄養学園	<ul style="list-style-type: none"> <大学・短大入試> ・合格判定などに活用。(全体の実績は不明) <高校・専門学校での単位認定> ・単位認定する際に活用。(全体の実績は不明) 	・年1回実施(9月)	<ul style="list-style-type: none"> <実施結果> ・合否判定→4級～1級 <試験形式> ・筆記試験及び実技試験 <受験資格> ・特になし。 <実施会場> ・4級・3級:全国約80会場 ・2級:東京・大阪 ・1級:東京 	<ul style="list-style-type: none"> <試験問題の作成> ・試験問題作成委員会において作成。 <試験問題の管理> ・管理に係る業務(印刷・保管等)を担う業者とは秘密保持に関する契約を締結する。 	<ul style="list-style-type: none"> <利用者負担> ・検定料は、受検級によって異なる。17,000円～9,000円 	成績優秀者には、文部科学大臣賞等を授与。

検定区分	趣旨・目的	実施主体	試験結果を活用又は評価している主な団体	実施時期	実施方法	試験問題の作成・管理方法	費用負担	備考
<ul style="list-style-type: none"> 毛糸編物技能検定 レース編物技能検定 	<ul style="list-style-type: none"> 国民の編物に関する知識並びに技能・技術に対する社会的評価を高め、もって職業と生活の充実向上に資する検定試験を実施する。 年間受検者数は、全体で約1,000人。 	公益財団法人日本編物検定協会	<ul style="list-style-type: none"> 〈高校・専門学校での単位認定〉 ・単位認定する際に活用。(全体の実績は不明) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回実施(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 〈実施結果〉 ・合否判定(毛糸編物検定)→5級～1級(レース編物検定)→3級～1級 〈試験形式〉 ・筆記試験及び実技試験 〈受検資格〉 ・特になし 〈実施会場〉 ・全国約40会場 	<ul style="list-style-type: none"> 〈試験問題の作成〉 ・試験問題作成委員会において作成。 〈試験問題の管理〉 ・管理に係る業務(印刷・保管等)は外注せず、本部事務局が行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈利用者負担〉 ・検定料は、検定種・受検級によって異なる。9,000円～2,000円 	成績優秀者には、文部科学大臣賞等を授与。
<ul style="list-style-type: none"> 情報検定 ・情報活用検定 ・情報システム検定 ・情報デザイン検定 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なICT能力がビジネスの基本となった現代情報社会において有用な人材に求められるスキルである「専門力」「基礎力」「コミュニケーション能力」などのスキルを測る試験を実施する。 ・年間受検者数は、全体で約25,000人。 	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団	<ul style="list-style-type: none"> 〈大学・短大入試〉 ・合格判定などに活用。(大学・短大:約70校) 〈大学・短大での単位認定〉 ・単位認定する際に活用。(大学・短大:約20校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・CBT方式:随時 ・ペーパー試験方式:年2回(12・2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 〈実施結果〉 ・合否判定(情報活用検定)→3級～1級(情報システム検定)→基本スキル～システムデザインスキル(情報デザイン検定)→初級～上級 〈受検資格〉 ・特になし 〈実施会場〉 ・全国約50会場 	<ul style="list-style-type: none"> 〈試験問題の作成〉 ・試験問題作成委員会において作成。 〈試験問題の管理〉 ・管理に係る業務(印刷・保管等)を担う業者とは秘密保持に関する契約を締結する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈利用者負担〉 ・検定料は、検定種・受検級によって異なる。4,000円～2,500円 	成績優秀者には、文部科学大臣賞等を授与。
<ul style="list-style-type: none"> 情報処理技能検定 ・日本語ワープロ検定 ・情報処理技能検定(表計算/データベース) ・文書デザイン検定 ・ホームページ作成検定 ・プレゼンテーション作成検定 ・パソコンスピード認定試験(日本語/英文) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報及び情報機器の活用能力の向上を図ることにより、分かりやすく情報を整理する力・表現する力・伝達する力などの情報活用能力が身につく試験を実施する。 年間受検者数は、全体で約25万人。 	日本情報処理検定協会	<ul style="list-style-type: none"> 〈大学・短大入試〉 ・合格判定などに活用。(大学:約60校、短大:約50校) 〈ジュニアマイスター制度〉 ・(公社)全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター顕彰制度の対象。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回実施(7・10・12・2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 〈実施結果〉 ・合否判定(日本語ワープロ検定)→4級、3級、準2級、2級、準1級、1級(情報処理技能(表計算/データベース))→4級～1級(文書デザイン検定)→4級～1級(ホームページ作成検定)→4級～1級(プレゼンテーション作成検定)→4級～1級(パソコンスピード認定試験(日本語/英文))→5級～初段 〈試験形式〉 ・実技試験のみ。 〈受験資格〉 ・特になし 〈実施会場〉 ・全国約50会場 	<ul style="list-style-type: none"> 〈試験問題の作成〉 ・試験問題作成委員会において作成。 〈試験問題の管理〉 ・管理に係る業務(印刷・保管等)を担う業者とは秘密保持に関する契約を締結する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈利用者負担〉 ・検定料は、検定種・受検級によって異なる。5,000円～1,500円 	